

(7) 2021年(令和3年) 11月15日(月曜日)

中部

名古屋支社

藤原工業



藤原工業(三重県四日市市)は11日、インターンシップ(就業体験)を受け入れた三重県立四日市中央工業高校の2年生4人を四日市市総合体育館(日永東)に案内し、設備機械室などの見学会を開いた。写真。

工業高校 インターンシップで体育館見学

2年生4人
を伝え、将来の進路の参考にしようというのが目的。藤原和彦社長が副理事長を務める三重県管工事工業協会(原田佳幸理事長)の取り組みの一環として受け入れた。
同社は9、10日で業界、配管、図面などについて説明し、フルハーネスの着用、CADによる図面作成、配管作業などの体験講座も開いた。最終日は「最新の設備をバックヤードから見よう」というテーマで2020年5月開館の同体育館を見学した。
見学後、生徒は「何げなく使っている施設でも、裏側で空調設備が大切な役割を果たしていることを知り、貴重な体験になった」と感想を述べた。
井内永知子同社経営企画室室長は「施設の快適さを左右する設備業のやりがいは大い。今後、業界の魅力を積極的に発信していきたい」と話した。